

地方創生交付金関連事業について

現在、松田町における地方創生の実現に向け、地方創生交付金を活用し実施している事業に関する事業概要及び目標指標は以下のとおりです。

1. AI を活用したオンデマンド交通サービス推進事業 (R5～R7)

本地域に AI オンデマンド交通 (のるーと足柄) を実装し、公共交通網を最適化することで、高齢者等の移動に係る課題解決や子育て世帯の利用促進を図るもの。

KPI 一覧：

①AI オンデマンド交通の会員数	②AI オンデマンド交通の利用者数	③乗降ポイントの設置数
------------------	-------------------	-------------

2. 日本初！「やどりきネイチャーポジティブアカデミー」整備事業 (R6→R7 へ繰越し)

平成 30 年度末をもって閉校となった、旧寄中学校の校舎を改修し、山間部である松田町寄地区の基幹産業である農林業 (一次産業) を核とした地域の活性化を図るため、持続可能な一次産業アカデミーとして、「農林水産業×ネイチャーポジティブ」を学ぶことができる日本初となる「やどりきネイチャーポジティブアカデミー」を整備するもの。

KPI 一覧：

①地域における農林水産就労者数	②本事業で新たに開発する商品数	③本施設で実施するアカデミー受講者数
-----------------	-----------------	--------------------

3. スポーツツーリズム推進拠点整備事業 (R7～R9)

寄自然休養村管理センターをリニューアルし、寄地区を訪れるスポーツ団体、観光客の受入環境を整え、スポーツツーリズム及び観光振興の拠点としての機能を復活させ、また周辺施設として一体的に運営しているスポーツ施設の整備を行い、新たな需要を呼び起こしていく。

KPI 一覧：

①寄地区の観光消費額	②センター利用者数	③寄地区の観光客数	④スポーツ施設の利用者数	⑤寄地区内の新雇用者数
------------	-----------	-----------	--------------	-------------

4. 窓口キャッシュレス化事業 (R7)

役場窓口での支払い方法が現金のみの取り扱いだったことから、窓口における支払いをキャッシュレス化することで、利便性を向上させる。

KPI 一覧：

①窓口のキャッシュレス比率	②サービスの満足度
---------------	-----------

5. 『使える英語力を！』オンライン英会話教育事業（R7）

グローバル化が急速に進展するなか、学校での英語教育では、実際に英語を話す場が少なく、「使える英会話」の育成が課題となっている。そこで、マンツーマンのオンライン英会話レッスンを実施することにより、英語による実践的なコミュニケーション能力の向上を図る。

KPI 一覧：

①生徒一人あたりのオンライン英会話実施回数	②オンライン英会話の満足度
-----------------------	---------------

6. 「食事」、「衛生」、「電気」の充実による快適避難所環境創出事業（R7（R6 補正））

避難所における、食事、衛生、電気の充実により、より快適に過ごすことができる避難所を創設し、有事に備えるもの。

- ①食事環境の充実⇒松田小学校を災害時のセントラルキッチンとして炊事能力を強化し、各避難所へ温食を配布できる体制を整備。平時は給食用設備などとして活用。
- ②衛生環境の充実⇒災害時の衛生環境を向上させるため、移動可能な簡易トイレ・シャワーを購入。平時は観光施設等に設置。
- ③電気設備の充実⇒停電時の非常電源として活用できる非常用電源及び電気自動車並びに避難所用の冷暖房機器等を購入予定。平時は、公用車として、また学校施設備品として活用します。

KPI 一覧：

①炊事設備の炊飯能力	②簡易トイレ及びトイレカーの台数	③電源等の確保	④防災の取り組みに関する町民の認知度	⑤72時間以内に温かい食事の提供を見込む避難所数
------------	------------------	---------	--------------------	--------------------------

事業概要【AIを活用したオンデマンド交通サービス推進事業】

申請者	神奈川県松田町					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	121,384千円 (27,128千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> AI技術を活用した、新たな交通サービスを導入することにより、運転免許証の返納などにより移動手段が必要な高齢者をはじめ、子育て世帯などすべての世帯が、より便利で快適な移動環境を構築する。 このことにより、外出の機会が創出され、地域コミュニティが活性化することや、地域の活力の向上を図る。 更には、マイカー依存からの転換を促進することにより、交通渋滞の緩和やゼロカーボンシティの取組を推進する。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <p>○新モビリティサービス推進事業費 地域の住民・企業等を主体とした組織に対し、AIオンデマンド交通の実証実験の実施に係る総合的な管理・運営を委託する。なお、対象経費については、運行エリア拡大分とする。また、実証実験3年間の利用実績の分析を行い、2026年10月からの開始を予定している本格運行に向けた最適な運行形態についての検討を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> AIオンデマンド交通の実証実験環境構築及び運行に係る費用 16,000千円 AIオンデマンド交通実証実験に係る利用実績の分析、本格運行に向けた運行計画の検討 8,000千円 <p>○協議体運営費 運行内容等の精査・意思決定を行うための協議体運営費。</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員報償、費用弁償、消耗品費、通信運搬費 など 128千円 車両改装費 3,000千円 						
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①AIオンデマンド交通の会員数 (+3,200人) ②AIオンデマンド交通の利用者数 (+120,000人) ③乗降ポイントの設置数 (+300箇所) 					関連URL	https://town.matsuda.kanagawa.jp/site/chihouseusei/
※経費内訳はR7年度事業費							
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値							

事業概要【日本初！「やどりきネイチャーポジティブアカデミー」整備事業】

拠点補正

申請者	神奈川県松田町	採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	84,304千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	平成30年度末をもって閉校となった、旧寄中学校の校舎を改修し、山間部である松田町寄地区の基幹産業である農林業（一次産業）を核とした地域の活性化を図るため、持続可能な一次産業アカデミーとして、「農林水産業×ネイチャーポジティブ」を学ぶことができる日本初となる「やどりきネイチャーポジティブアカデミー」を整備するもの。		
<p>整備内容・利活用方策</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>持続可能性をテーマに、農林業の担い手を確保していくための各種プログラムを実施するほか、地域の農産物を活用した6次化商品の製造、販売戦略など、生産から加工、販売までを一気通貫で学ぶことができるアカデミーとすることにより、持続可能な経営力を持つ農林水産就労者を育成し、地域全体の稼ぐ力を創出する。</p> <p>特に養鶏業の分野においては、鶏にセンサーをつけて動きを管理したり、水やりの装置を遠隔で操作するなど、AI技術を活用したスマート養鶏事業の現場をモニタリングできる環境を本施設に整備し、学習プログラムの提供を行うことで、デジタル技術を活用した効率的な農林水産業の経営を実践していくことができる人材の育成を図る。</p> <p>【整備内容】</p> <p>○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容</p> <p>【建築物本体工事】</p> <p>建築改修工事 62,017千円</p> <p>【建築物と不可分な設備工事】</p> <p>機械設備改修工事 2,520千円、電気設備改修工事 1,890千円</p> <p>【設計業務及び工事監理業務】</p> <p>設計業務及び工事監理業務委託料 5,280千円</p> <p>○効果促進事業の内容</p> <p>・ハード事業 フェンス設置工事 12,597千円</p>		
KPI	<p>①地域における農林水産就労者数（+50人）</p> <p>②本事業で新たに開発する商品数（+50種）</p> <p>③本施設で実施する受講者数（+3,700人）</p>	<p>関連URL</p>	<p>https://town.matsuda.kanagawa.jp/site/chihouseisei/</p>

事業概要【スポーツツーリズム推進拠点整備事業】

申請者	神奈川県松田町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	579,876千円 (343,366千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的(効果)	<ul style="list-style-type: none"> 松田町寄(やどりき)地区にある観光交流拠点施設である「寄自然休養村管理センター」をリニューアルし、寄地区を訪れるスポーツ団体、観光客の受入環境を整え、「寄・里の駅」として、改めてスポーツツーリズム及び観光振興の拠点としての機能を復活させ、寄地区全体の観光消費額の増加を図る。 併せて、周辺施設として一体的に運営しているスポーツ施設(みやま運動広場、寄テニスコート)の周辺整備を行うことで、新たなスポーツ需要を呼び起こすことスポーツツーリズムを推進し交流人口の増加を図る。 						
事業概要・主な経費	<p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○寄・里の駅整備 ・施設のリニューアル 176,520千円 ・駐車場整備 60,130千円 ○みやま運動広場周辺整備 ・屋外トイレ改築、ネットフェンス設置、3on3コート整備 92,923千円 <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○誘客促進事業 7,480千円 ○新たなスポーツの受入環境検討 2,953千円 ○拠点機能構築事業 3,360千円 					 <p>←現在の寄自然休養村管理センター</p>  <p>人工芝生化した寄みやま運動広場→</p>	
KPI	<ol style="list-style-type: none"> ①寄地区の観光消費額 (+199,000千円) ②センター利用者数 (+2,530人) ③寄地区の観光客数 (+87,100人) ④スポーツ施設の利用者数 (+27,400人) ⑤寄地区内の新雇用者数 (120人) 					関連URL	https://town.matsuda.kanagawa.jp/site/chihouseusei/
<small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>							

事業概要 【窓口キャッシュレス化事業】

自治体名	神奈川県松田町	人口	10,266人	事業費	386千円
------	---------	----	---------	-----	-------

事業概要
 窓口での支払い方法が、現金のみの取り扱いとなっていることから、町民の支払い方法の多様性を狭めており、不便であり、また、現金を取り扱うことから、お釣りなどの窓口での対応に要する時間が多くなり、窓口が混雑する要因となっていることから、窓口のキャッシュレス化により、支払い方法を選択する余地を与え、町民への支払いの利便性を向上させ、かつキャッシュレス化による1会計あたりの時間を短縮することにより、混雑する要因を取り除くことを目的とする。

具体サービス

【キャッシュレスサービス】

- stera terminal（決済代行会社から調達予定）
- …クレジット・電子マネー・QRの主要キャッシュレス決済を全て一台の端末で行うことが可能。



主なKPI

【アウトプット指標（活動指標）】

- ①窓口のキャッシュレス比率
- ②
- ③

【アウトカム指標（成果指標）】

- ①サービスの満足度
- ②
- ③

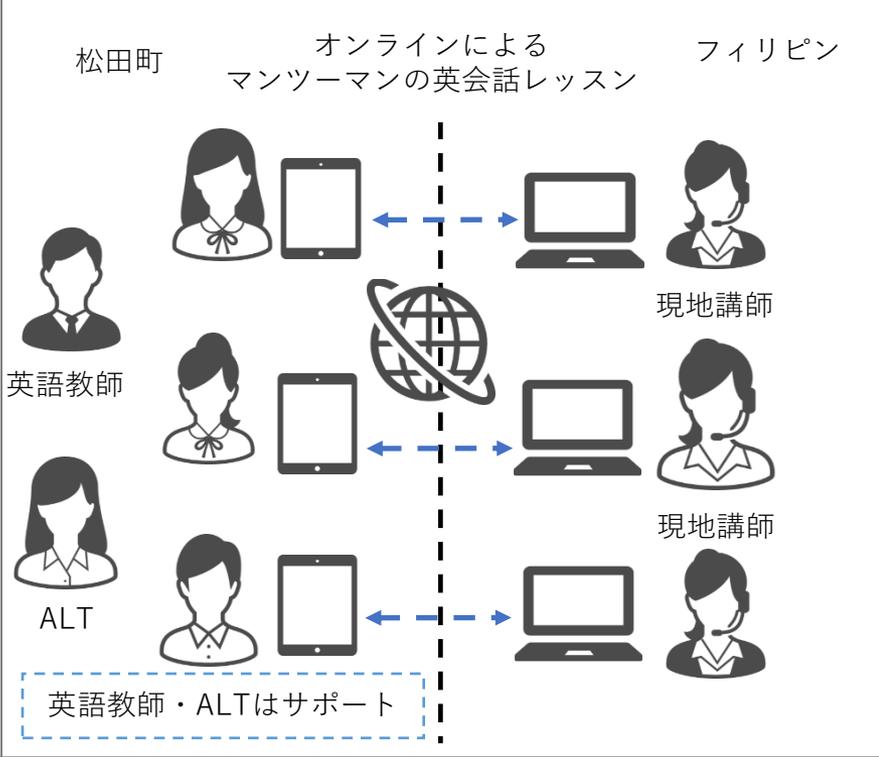
事業概要 【『使える英語力を！』オンライン英会話教育事業】

自治体名	神奈川県松田町	人口	10,266人	事業費	4,573千円
------	---------	----	---------	-----	---------

事業概要
 グローバル化が急速に進展するなか、学校での英語教育では、実際に英語を話す場が少なく、「使える英語力」の育成が課題のひとつとなっている。また、町の資源のひとつである桜まつり等のイベントには多くのインバウンド客が訪れる。そこで、現在の英語教育をベースとしたマンツーマンのオンライン英会話レッスンを実施することにより、英語による実践的なコミュニケーション能力を伸ばし、「使える英語力」を身につけたグローバル人材を育成していく。

具体サービス
 文部科学省のGIGAスクール構想により整備した1人1台端末を活用し、フィリピン現地講師とマンツーマンでのオンライン英会話レッスンを行う。

- ・対象
 町内中学校の全生徒 220名
 ※希望がある場合は、放課後に親子での受講も可能。
- ・基本的には英語の授業時間内で実施（レッスン時間は30分）し、英語担当教員とALTがサポートする。
- ・年間6回程度のレッスンを実施。レッスン内容は、基本的に各学年の教科書等に準じて行う。



主なKPI
 【アウトプット指標（活動指標）】
 ①生徒一人あたりのオンライン英会話実施回数

【アウトカム指標（成果指標）】
 ①オンライン英会話の満足度

事業概要（「食事」、「衛生」、「電気」の充実による快適避難所環境創出事業）

自治体名	神奈川県松田町	人口	10,251人	事業費	64,300千円
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 「食事環境の充実」 避難所となる学校施設にて、炊き出しに必要となる資機材（炊飯設備等）を購入。平時は給食用設備として活用。 ➢ 「衛生環境の充実」 移動可能なトイレを平時は観光拠点に設置、災害時に避難所のトイレとして活用。 ➢ 「電気設備の充実」 停電時の非常電源として活用できる非常用電源等を購入。平時は、バックアップ用。 				
購入する資機材等の内容	<p>「食事環境の充実」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炊飯設備 2台 320万円 ・洗米機 1台 190万円 ・食料運搬車 1台 1150万円 ・冷凍庫 1台 79万円 ・タープテント 8張 161万円 <p>「衛生環境の充実」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡易トイレ 4台 760万円 ・トイレカー 1台 1150万円 ・シャワーコンテナ 1台 1100万円 <p>「電気設備の充実」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大容量ポータブル電源 2台 188万3千円 ・電気自動車（EV、PHEV） 1台 610万円 ・バルーンライト 12台 309万6千円 ・灯油ストーブ 15台 210万円 ・スポットクーラー 15台 178万5千円 ・除湿器 2台 23万6千円 				
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）※一つ以上】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①炊事設備の炊飯能力 ②簡易トイレ及びトイレカーの台数 ③電源等の確保 		<p>【アウトカム指標（成果指標）※一つ以上】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①防災の取り組みに関する町民の認知度 ②72時間以内に温かい食事の提供を見込む避難所数 		